川口町公民館報

# 公民館報

第97号

発行人 古田島正
編集人 山田彦作
印刷所 山静堂印刷所

| 町の人口 | | （11月末） |
|---|---|---|
| 世帯数 | | 1.520 |
| 人口 | 男 | 3.628 |
| | 女 | 3.736 |
| | 計 | 7.364 |

## 健康で明るく しあわせな年に

川口町長 星野輝政

町民の皆さん、あけましておめでとうございます。皆さんの絶大なる御支援と御協力によりまして、多事多端でありました昭和四十三年を無事に送り、輝やかしい昭和四十四年の新春を迎えることができました。誠に感激の深いものがあります。

すぎ去った年をふり返ってみますと、年頭から異常な豪雪に遭遇しましたけれども台風や水害による被害もなく、心配されていた稲作は史上まれにみる豊作を記録することができました。

さて、町政の面でございますが、私は、町民の御信託をいただいて町長に就任以来今日まで明るく豊かな町づくりのためには、先ず町政運営の基本である財政の健全性を堅持しつつ調和と均衡のとれた諸施策、なかんずく産業経済の発展及び町民の幸福につながる基盤の整備に焦点をあわせた事業を積極的に推進することにあると説じて、その実現に努めて参りましたが、幸い農業構造改善事業、山村振興事業を始め、県立蚕業試験場の誘致、あるいは工場の誘致などもその成果が着々と実現をみつつある段階にいたりました。これはひとえに町民各位のたゆまざる努力と御協力の賜でありまして感謝に堪えないとともに喜ばしい限りであります。

最近における経済文化の急速な進展と相まって、今や地方公共団体に課せられた役割は益々増加して参っておりますが、新春を迎え私は清心の意気をもって、今後とも本町が農業立町の町であることを基本理念として、第一次産業を始め第二、第三次産業の創意と工夫をあわせた振興策を基盤に、道路、河川その他公共施設の整備、社会福祉及び教育の充実、そしてへき地、豪雪に対する対策の拡充などを重点施策として町民各位の卒直な御意見をうけたまわり、更に国、県等関係機関との密接な連繋を保ちつつ町政進展のため最大の努力を傾注して参る所存であります。

町民各位の特段の御支援を賜わりますよう切にお願い申し上げますとともに昭和四十四年が全町民こぞって、しあわせな年でありますよう祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

**雑感**

## 夢で想う

教育委員会委員長 丸山省三

稲刈りで疲れきった晩、久しぶりに亡父の夢を見た。

むんむんと草いきれのする日、父と兄と三人で、通称松沢山へ杉の下刈りに行ったときのこと、私が怪我をした右手を鉢巻をはずして包帯しているところを、杉の間から腰をおろし、キセルを喰わえて黙って見ている父、私から痛いと声をかけるにも自責の念にかられてかけられない。

世の中がうなりを立てて、日まぐるしく動いているのに事更回想にふけって見てもと思いながらも、日頃仏心のない私を覚せいさせるのか、あるいは七回忌の当り年だったのかわからない。今でも右手の傷跡を見ては当時を思い出す。鎌のヌキかじりという言葉が流行した終戦当時のこと、父が、兄が、故郷でやせこけて農作業にはげんでいるのが身にしみて、夏休みが始まるとすぐ帰郷して手伝ったような気がする。今ではなんでもないことだが、連日草取りに引張り出され、そのうえ杉の間刈り、今日はさぼりたい一念。だが父はきびしい。しかしいやいやながらも、父の姿を見ると自然後について出るのであった。

いやいやながらの仕事だから、大鎌の持ち方に要領を得ている答がない。傾斜が急のため腰のすわりも悪い、ヌッと足を動かしたとき大鎌の柄がヌルヌルと滑り右手の人差指が根本に引っかかり、二種位の傷を負った。昼食のとき父は仕事に身が入っていない証拠だと一喝。私の傷の痛さなど見向きもしない。全くにくい。その後傷を負ったり失敗したりを繰返したが、度毎に思い出されるのが父の一言である。あの時やさしい言葉が一つでもあったらこれ程気懐に残ってはいないと思う。仕事を通じて父の教えだと、心にしみ込んでいるが、気のゆるみで又失敗するなということだろう。

## 米十四俵どり誕生

中新田 岡村貞吾氏

町に、はじめて十四俵どりの農家が誕生した。中新田岡村貞吾氏で十ア当り八三四瓩（越ミノリ）と十四俵台に近い収量をあげ、小千谷、川口多収穫共進会で一位になり知事賞（金ばい）を受けた。

今年度県下の稲作の平均収量は十ア五一八K、最高収量は九〇四瓩（十五俵）という大記録が下越地方で出たのでこれにはおよばないが、十ア当り十二俵が限界とされていた豪雪山間地帯としては驚異的記録である。

これは、ことしの好気象も見落しえない要因であろうがなんとしても岡村氏の研究努力による技術向上のあらわれである。

## いっそうの精進を

──共進会 表彰式──

川口農協の四十三年度米、繭出荷共進会表彰式が十一月二十三日川口中学校で行われた。

この日午前十時、星野組合長から「至上最高の農作は必ずしも好天候のためばかりでなく、農業全般に対する科学的な進歩と農家のたゆまざる研究努力のたまもの」と感謝のあと別記のとおり出荷成績優秀者の表彰が行われた。

つづいて、星野町長から来賓祝辞として「食管制度の再検討が話題になっているが、川口のような地域では、より多く米を作るという使命はゆるがないと思う。町も産業予算を四倍にふくらまし、構造改善や桑園造成など農業振興に力を注いで、都市と農村の所得の格差の是正につとめているので、今後一層精進してほしい。」とはげましの挨拶があり、「食管制度堅持」に関する決議を満場一致できめて閉会した。

別記

◆米出荷の部

◉二〇〇俵以上 牛ヶ島江島松吉◉一五〇俵以上 岩田原山田三郎兵エ、牛ヶ島保料家久◉一〇〇俵以上 喜多村敏泰、堀沢勝雄、佐藤雅美、佐藤広吉、古田島正明、古田島徳八、関清吉、真島勝作、星野誠一、岡村勝一、岡村繁雄、山田儀吉、星野七郎、山田宗二、山田熊吉、関武雄、関定吉、関亀蔵、江島正直、江島幸太郎、丸山省三、阿部久治、阿部長吉、石坂長平、鈴木栄次郎、鈴木正平、鈴木六郎、星野幸之助、星野誠之助、広井竹二、小林賢作、百俵以下省略

◆繭出荷の部

◉五〇〇瓩以上 竹田渡辺儀栄、野田古田島勝司、竹田渡辺万吉、渡辺松蔵◉四〇〇瓩以上 竹田渡辺竹治郎、四〇〇瓩以下省略

◆畜産の部

牛乳二〇、〇〇〇瓩 相川二山崎徳一 以下省略

## 謹んで新年のお祝いを申し上げます

町長 星野輝政
助役 石坂久平
収入役 佐藤精一
教育長 古田島正
〃 外職員一同

◉議会議員
議長 上村忠作
副議長 大渕竹太郎
議員 星野喜勇平
山田寅之助
堀沢正雄
江島静
星野武夫
喜多村友蔵
堀沢哲男
綱 与市
広井松雄
古田島徳八
小見昇司
上村正雄
関 平吉
笹崎寅市
星野光蔵
小宮山賢吉
綱 儀太郎
関 達次
原田登寿治
黒島二郎
（以上議席順）

◉監査委員 目黒寅吉
〃 小宮山賢吉

◉農業委員（以下順序不同）
山田寅之助 綱 富兵
笹崎猛 上村忠作
星野七郎 大渕喜作
広井新太郎 喜多村勝
森山平八 小林甲子郎
山田亀次 佐藤多吉
平沢哲 星野喜勇司
水落喜一

◉教育委員
〃 丸山省三 〃 渡辺仁太郎
〃 星野房吉 〃 関

◉選挙管理委員
古田島正
大渕育雄 村山道親
槇 道雄 上村省三

◉固定資産評価審査委員
佐次晋 笹崎勝太郎
上村一夫

◉固定資産評価協力員
関 達次 小宮山久治
星野五作 村山金栄
大渕政次 森山恒治

◉消防団（分団長以上）
広井茂男 喜多村隆
岡村慎吾 綱 富兵
鈴木時起 星野七郎
上村博 森山子之吉
小林聖 小林甲子郎
中林稔

◉民生委員
関 与作 丸山多平治
山吉福栄 関 夏代
喜多村喜市 星野秀治
村山道親 大渕鉄九郎
中林友治 大渕寅実
阿部幸吉 桜井ヘルノ
槇 好子 大渕 静

◉社会教育委員
山吉文蔵 大渕寅松
山田寅之助 小西登久治
宮下睦二 内藤フミ
雨宮孝作

◉公民館地区館長
宮坂弘 綱 善作
古田島勝司 丸山鴻三郎
中林只二 大渕寅松
関 登代一 星野一弥

◉国保運営委員
山田寅之助 内山徳四郎
大渕竹太郎 丸山隆敏
星野勝一郎 小西登久治
山吉文蔵 広井毅郎
松川弁一郎 小林広吉
栗原稔 大津裕

◉共済損害評価会委員
小宮山賢吉 丸山一夫
大渕竹太郎 平沢平八郎

◉共済損害評価委員
喜多村勝 山田隆作
丸山秀夫 湯井勇
渡辺政雄 水落佐一郎
山田幸夫 大渕強司
山田静美 樋口富作
山田稔 小林広吉
江島正直 阿部稔
石坂定吉

---

## 横断歩道橋と信号機が完成

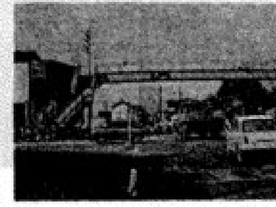
建設省国道工事事務所が町内二見屋前の国道十七号線に架設していた横断歩道橋と信号機が完成し、暮れの十七日に渡り初め式が行われた。

総工費は信号機が七十万円で県六十五万円、町五万円、歩道橋は七百二十五万円で全額国の負担とされている。

この歩道橋は北陸地建が最初のこころみとしてロードヒーテング式消雪施設がついていることが特徴とされている。

### 信号機の見方

「青色信号」



信号に対面する方向の道路は進めですから歩行者はこの方向の横断はできます。

「赤色信号」

信号に対面する方向の道路は止れですから歩行者はこの方向の横断はできません。

「黄色信号」

すぐ赤色信号に変るから注意して下さいという信号です。この信号に対面する方向の道路へは入れません。もし入ったときは早く渡るか引返さなければなりません

「黄色の点滅と赤色の点滅」

歩行者は他の交通に注意して道路を横断できますから左右の安全を確めてから横断して下さい。

## 減少する児童生徒数

小、中学校の児童生徒数がこんなに減少する。

現在全校の児童生徒数は一、四〇一人。五年前の三十八年はいまより五三〇人多く、五年後の四十八年には更に一六九人減ってしまう。

各校別は別表のとおりであるが、こうなると学校統合や国の青壮年労仂人口減少の問題が真剣に考えられなければならない時期が到来したといえる。

全校児童生徒数の推移

| | 過去 | | 現在 | 5年後 | | 10年後 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 38年 | 40年 | 43年 | 45年 | 48年 | 53年 |
| 泉水小学校 | 187人 | 168人 | 164人 | 157人 | 122人 | 人 |
| 和南津小学校 | 99 | 96 | 78 | 64 | 55 | |
| 川口小学校 | 542 | 503 | 419 | 374 | 304 | |
| 田麦山小学校 | 160 | 125 | 76 | 64 | 60 | |
| 小高小、分校 | 53 | 41 | 33 | 30 | 25 | |
| 山ノ相川分校 | 40 | 37 | 25 | 23 | 17 | |
| 木沢小学校 | 85 | 75 | 63 | 46 | 41 | |
| 計 | 1.166 | 1.045 | 858 | 758 | 624 | |
| 川口中学校 | 540 | 455 | 388 | 352 | 337 | 250 |
| 田麦山中学校 | 141 | 137 | 97 | 77 | 48 | 42 |
| 木沢中学校 | 58 | 48 | 39 | 40 | 26 | 17 |
| 山ノ相川分校 | 26 | 19 | 19 | 15 | 18 | 8 |
| 計 | 765 | 659 | 543 | 484 | 424 | 317 |
| 合計 | 1.931 | 1.704 | 1.401 | 1.342 | 1.048 | |
| | 100% | 88.24% | 72.55% | 6 .31% | 54.27% | |

## 直接利害関係の 大きい相続問題

旧民法の相続関係において長子の特殊地位（家督相続）が排除されて、すべての子供と、配偶者が相続分を有するようになっています。

相続は、被相続人の死亡によって開始し、被相続人と一定の親族身分関係のあるものが、被相続人の財産に属する一切の権利義務を承継することであります。

従って、相続人には順位があって、第一順位は直系卑属、第二順位は直系尊属、第三順位は兄弟姉妹であります。

配偶者は、これ等の相続人とともに常に相続人となります。

次に相続分について、全相続財産のうえに有する承継の割合が相続分でありますので被相続人の意思が優先します。遺言がない限り民法に規定する相続分に従うことになります。

しかしすべての場合に相続人が、被相続人の権利義務を承継しなければならないとすると、その意思に反して、債務を負わされる等不利益となる場合があるので相続人と定められた者の保護のため、相続を承認しないときはこれを放棄して相続人の地位から離脱することができます。

このような相続方式には、承認相続と、相続の放棄があり、承認相続には、単純承認、限定承認の二通りがあります。

相続の放棄は、自己のための相続の開始があったことを知った時から三ヶ月以内にその旨を家庭裁判所に申述しなければなりません。

三ヶ月以内にしないと相続人全員が法定分を承認相続したことになります。

詳しいことは家庭裁判所長岡支部、又は役場戸籍係に問合せ下さい。（次号相続税）

△ △ △

## 第二次ガス供給 改善事業完了

ガス事業は、その供給するガスが清けつ、安全、かつ便利であるため、家庭用の燃料として、極めて旺盛な需用を充たしており日常生活に欠くことのできない役割をきたし、特に最近のように国民所得水準の上昇に伴う生活様式の高度化、住宅様式の近代化によりガスの需用は益々増大しております。

当町においても、このガス需用に対応して、昭和四十二年度に第一次ガス供給改善事業として企業債三百万円を郵政省簡易保険資金運用部より借入れて、川口地区のガス本管を増設し同地区の安定供給をはかってきましたが、この度第二次改善計画としての本年度企業債二百万円が同資金で貸付承認されて、十月より北栄建設株式会社の請負により完了いたしました。

本年度施行いたしました改善工事は、工場内の機械設備を拡充増強したもので、これまで供給するガス（四、五〇〇キロカロリー）の製造能力が一時間当り最大一二〇㎥しかなく当初計画より予想以上に需用が伸び、特に一時に全家庭で使用するピーク時には対応できない状態となることが予想されたので、これを一時間当り三〇〇㎥の能力に設備をかえたものであります。

なお末端需用家にあっては、ガスの圧力不足が生じておりますが、応急措置としてガスホルダーの加圧等も実施しましたがまだピーク時における圧力不足がありますので、今後も逐次改善して、需用供給の安定をはかるよう検討しております。

**美しい善意**

## 困っている人へと

困っている人、きのどくな人達を救うのに役立ててくださいと、こずかいの中から、こつこつと貯めたお金や本を届けてくれた人が二人あった。

町では早速お金は困っている人や病気できのどくな人へ、本はへき地の山ノ相川分校の子ども達へ贈った。

・中山 渡辺新治さん方の英子さんと正一君が一円玉で一、〇一五円

・川口 綱晴美さんは一、一二四円と日本文学全集十五冊

## 貯蓄推進標語 入選

川口町貯蓄推進委員会では、このほど貯蓄推進標語を募集したところ六九名の応募者から一六六点の作品が提出された。審査の結果次の作品が入選した。

一等（賞金三千円）
「貯蓄上手はくらし上手」
田麦山 森山ミヨ

二等（賞金二千円）
「貯蓄して築け 我等の明るい郷土」
和南津 覚張次郎
「こつこつためる 未来に憂いなし」
川口 中林實

三等（賞金一千円）
「たのしいくらしは貯蓄から」
川口 小林恒夫
「先ず貯蓄 消費は二のつぎ三のつぎ」
川口 井関秀二
「泣いた子が笑って 入れる貯金箱」
相川口 関和雄

## 道路の除雪に協力を

ことしも道路の除雪を左図のとおり実施して、冬の交通確保をはかり、産業経済の振興と民生の安定をはかることになりました。

ついては、次のことにご協力をお願いいたします。

◎一般の方へ

・路上に物件を置かないこと。屋根の雪をおろしは町土木課と連絡をとり作業はできるだけ一斉に行うこと。道路除雪後に屋根の雪おろしをしたときは各人の責任において速やかに道路上から雪を除去すること。

◎歩行者の方へ

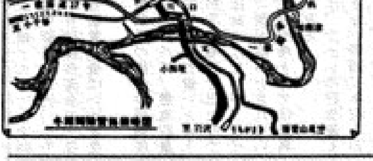
除雪車のすぐ前、すぐあとの歩行は危険です。

待避のできたところで自動車をよけるときは、足もと及び頭上部に注意すること。

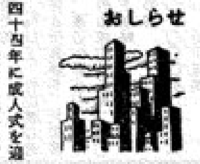
◎運転者の方へ

除雪の際道路に車輛を置かないこと。特に深夜早朝におかないこと。

除雪作業によって道路上に放置されてある車輛、物件に損害をおよぼしても補償しないこと。



## 成人号運転のおしらせ



昭和四十四年に成人式を迎える皆様の前途をお祝いし、楽しい思い出を残して戴くため、国鉄では新潟県市町村の協賛で、臨時列車「成人号」を運転します。

このよい機会に多数の御参加をお願いいたします。

記

○期日 一月二十五日（午前十時半頃）出発、二十七日（朝五時二十分頃）帰着、二泊三日

○行先及び見物箇所 東京、NHK放送センター、国立競技場、科学技術館、国会議事堂、霞ヶ関ビル、新宿コマ劇場

○宿泊 オリンピック選手村青少年総合センター（一室四名、シングルベット全室完全暖房）

○会費 越後川口駅から四、九二〇円

お問合せ、お申込みは早めに越後川口駅へどうぞ。

## 民生委員改選

民生委員が三年の任期満了により、十二月一日付けで定数十四名中八名が改選された。男女別は、男十一名女三名で氏名は別掲（謹賀新年の名簿）のとおり。

## 卓球協会設立

卓球をとおして、心身の健全な錬磨と会員の親和をはかり、明るく豊かな町づくりに役だとうと、このほど卓球愛好者があつまって、川口町卓球協会をつくった。

会則をきめたあと、会長に石坂久平（相川）副会長に関ナミ（相川口）関一郎（牛ヶ島）およびその他の役員を選出して、ひろく会員を募集することになった。

## たすけあいの心づくしで 明るいお正月に

十月は赤い羽根募金、年末は才末同情募金と、たてつづけに募金運動にご協力をいただいたが、いずれも好成績に終った。

共同募金は二十三万三千五百円を完納し、才末募金は、十四万一千六百二十円となり、入院、入所者七十八名、保護世帯二十七世帯、長期在宅療養六十八名にそれぞれ慰問金としてお贈りした。

又、仏教会からも一万二千円が届けられ、前記の人達へ贈られた。

## 錦鯉の盗難防止は こんなふうに

一、夜間の見まわり励行
二、越冬施設にはできるだけ点灯を
三、池に鉄線柵か、金網を取付ける
四、優上物は写真を撮しておく
五、盗難にあったときは、足あと、車こん等の現場保存に努めること。

## 家庭教育学級 でお母さん勉強

家庭教育学級（幼児）が十二月十二日役場で開催された。

この学級は一回三時間年六回開催されるもの。

今回は伊米ヶ崎小学校長保科先生を講師に「こどもは保護過剰になってはならない」「こどもしつけるに一貫性がなければならない」「社会のきまりを守るようにしつけなければならない」と幼児のしつけ方について熱心に勉強していた。

又中学生学級も十二月九日五十嵐芳太郎先生を講師に役場で開催された。

この家庭教育学級はことしも、つづけて開催されるので加入希望者はいつでも申込めば開催日の通知がゆくことになっている。

## 婦人会幹部研修

十二月三日川口町連合婦人会の幹部研修会が役場で開催された。

中越教育事務所上村正弘先生を講師に、「魅力ある婦人会にするにはどうしたらよいか」「家庭教育はなぜ重要なのか」の二つのテーマでしんけんな討議が行なわれた。

## 峠部落に公民館

へき地部落の集会室として峠部落では公民館を新築した。二八、五坪の木造二階建で総工費は九十万円。このうち役場が七十万円助成することになっている。

## 交通指導員さん ご苦労さま

川口町の交通指導員が自分の業務をさいて熱心に交通指導に当っているので、町や警察から感謝され、町民からも大変よろこばれている。

交通指導員制は昨年町が県下にさきがけて、町内の交通指導体制の確立をはかるため交通指導車（救急救車）とともに設けたもの。

毎月十日が定例指導日とされ、その他臨時出動や急救業務を加えると一週に一回の出動回数になるという。

指導員氏名。小林聖、古田島友二郎、渡辺儀一、大久保栄作、生越千里